ニュー911 GT3、ジュネーブモーターショーにてワールドプレミア

3.6 リッタークラスの世界最速エンジンを搭載

ポルシェ AG(本社:ドイツ、シュトゥットガルト 社長:Dr.ヴェンデリン・ヴィーデキング)はジュネーブモーターショーにおいて、911GT3 のワールドプレミアを行います。

2006年2月28日、ポルシェはジュネーブモーターショーにおいて 911 ターボに加えて、もう一台のニューモデルの全貌を世界で初めて一般公開いたします。

911 モデルレンジの中で、GT3 という名称はピュアで純粋なドライビングプレジャーの象徴です。その妥協を許さないダイナミクスにより、このモデルは日常の走行だけでなく、サーキットでも印象的な走りを見せます。最高出力 305 kW (415 PS) を生み出すこの 3.6 リッター水平対向エンジンは、排気量 1 リッターあたり 84.7 kW (115.3 PS) ものパワーを生み出すパフォーマンスを備えており、公道を走る自然吸気エンジン搭載のプロダクションスポーツカーというカテゴリーでは、新世代の GT3 をその頂点に君臨させる力を秘めています。

ニュー911 GT3 の 6 気筒エンジンは 7,600 rpm で最高出力を発揮します。レブリミットについては、先代モデルのスペックを 200 rpm 上回る 8,400 rpm に設定されています。このような高回転エンジンの採用に加え、エアフローの面で最適化を実施したこともパフォーマンスの大幅な向上に貢献しています。ニューGT3 ではスロットルバルブの直径を 76mm から 82mm へと大径化や可変インテークシステムと背圧の小さいエグゾーストシステムの採用に加え、シリンダーヘッドによってエアフローの最適化を実現しています。

ドライバーに対しては、操作性に優れた改良型の6速トランスミッションが用意されています。このトランスミッションはその非常に短いシフトストロークが印象的で、2速から6速までのギアレシオが低く設定されていることから、さながらレース用エンジンの性能を理想的なかたちで引き出すことが可能です。

ニュー911 GT3 には、新たにシフトアップディスプレイが装備されます。エンジン回転数が一定の値に到達する直前にレブカウンター上のシフトアップディスプレイが点灯し、シフトチェンジにとってのベストなタイミングがドライバーに告げられます。

エンジンとトランスミッションの調和がいかに優れているかは各種の走行データがそれを証明しています。GT3 は 0-100 km 加速のタイムが 4.3 秒で、静止状態から 8.7 秒で時速 160 km/h に到達します。なお最高速度については時速 310 km/h をマークしています。

またニュー911 GT3 には、GT3 として初めてアクティブシャシー、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム(PASM)が装備されます。PASM を装備したことにより、911 GT3 は、1 つのシステムで 2 種類のスポーティなシャシーを選択できるようになっています。ノーマルモードの設定は先代モデルのフィールに非常に近く、路面状況が変化するような道路を走行する場合に適しています。一方スポーツモードの場合はシステムがダンパーを固めに設定するため、サーキットで更なるダイナミズムを発揮することが可能です。

エンジンのパワーを可能な限り路面へ伝えられるよう、標準装備となる 19 インチスポーツタイヤや機械式のリミテッド・スリップ・ディファレンシャルなどを含めて、ニュー911 GT3 にはトラクション性能に配慮した幅広い装備が備わっています。これに加え、ハイパフォーマンススポーツカーのカレラ GT から受け継いだ電子制御式の新しいトラクションコントロールシステムが、いかなる走行条件下でも安全なトラクションを確保しています。このシステムはタイヤのスリップやエンジンのドラッグトルクに関するコントロール機能を備えている点を特徴としており、必要に応じてその作動を完全に解除させることも可能です。

911 GT3 は、2006 年 5 月にヨーロッパでの販売が開始される見込みです。

> <本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先> ポルシェ ジャパン株式会社 広報室/荒瀬大雅

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F

TEL: 03-5436-5923 FAX: 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト http://press.porsche.co.jp